

ぼらっと

〔第24号〕

2011年9月21日



『ぼらっと』とは「ぶらりと」気軽に、「ボランティア」しましょう!!という造語です。

発行元

〒020-0541 雫石町千刈田82-2

雫石町総合福祉センター内

雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-VC@shisha.or.jp

http://www.shisha.or.jp/

ホームページからもご覧になれます。

災害復旧支援ボランティア募集!

6月から実施しております、被災地支援のボランティアバスの運行については、これまで県外・町外からのボランティアを含め、多数の方々から参加して頂いております。

大震災発生から半年が経ちましたが、被災地では依然として厳しい状態が続いております。

このような中、当災害ボランティアセンターでは、第3次ボランティアバスの運行を行いますので、皆さまの参加をお待ちしております。

ボ
ラ
バ
ス
で
行
こ
う
す
で



| | |
|---|---|
| <p><活動期日></p> | <p><募集人員・応募条件></p> |
| <p>★10月第1陣 平成23年10月11日(火)</p> <p>★10月第2陣 平成23年10月15日(土)</p> | <p>★各20名(先着順。定員になり次第締切。)</p> <p>★心身ともに健康な方。 高校生以下の参加の場合は、保護者の引率が必要です。)</p> <p>★ボランティア活動保険(天災A)にご加入済の方</p> |
| <p><活動場所・内容></p> | <p><持ち物></p> |
| <p>★大槌町</p> <p>★主な活動内容: がれきやゴミの撤去等</p> | <p>★主に屋外での活動になるので汚れても良い服装。(長袖・長ズボン)</p> |
| <p><日程> ・交通状況等により日程が変更になる場合もあります。</p> | <p>○ 昼食(飲料水)</p> <p>○ カップ・タオル・帽子</p> |
| <p>5時50分 雫石町総合福祉センター集合</p> <p>6時00分 雫石町総合福祉センター出発</p> <p>9時00分 大槌町災害ボランティアセンター着</p> <p>9時30分 作業開始</p> <p>15時00分 作業終了</p> <p>16時00分 大槌町災害ボランティアセンター発</p> <p>19時00分 雫石町総合福祉センター到着</p> <p>★二日間とも同じ日程になります。</p> | <p>○ 作業用の厚手のゴムや皮の手袋</p> <p>○ 汚れてもよい丈夫な靴 *あれば安全靴(ステンレス入)</p> <p>○ 可能な方はスコップ</p> <p>○ 身分証明書(運転免許証等)</p> <p>○ 作業後の着替え等</p> <p>○ 気温によっては、防寒着</p> <p>※マスクはこちらで準備します。 ※天候にもよりますが、水分は多めにご用意願います。</p> |
| <p><お申込み&お問合せ先・その他></p> | |
| <p>★雫石町災害ボランティアセンター(雫石町総合福祉センター内) 〒020-0541 雫石町千刈田82-2(雫石町役場となり) 電話:692-2230</p> <p>★申込受付時間 ⇒ 平日(月曜日~金曜日)午前8時30分~午後5時まで</p> <p>★申込方法 ⇒ 来所または、お電話にて受付いたします。★担当 ⇒ 大村・外村</p> <p>★その他 ⇒ ※ボランティア活動保険は、雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センターにて加入することができます。</p> | |



今年も開催します！
☆いきいき
福祉まつり 2011

みんな集まれ、
みんなが主役

とき：平成23年10月2日(日)

9時45分～14時30分

ところ：栗石町アルペン広場

(※雨天時は全ての行事を福祉センターで行います。なお、雨天時のフリーマーケットは一切を中止します。)

★今年の目玉！★

被災地復興支援コーナー

航空会社ANAによる記念撮影

★他にもたくさん催し物★

いろいろ工作・遊ぼう＆作って遊ぼうコーナー

スタンプを集めて景品をゲットしよう！

よつり・キャップハンディ体験

福祉施設バザー

福祉施設等作品展コーナー

一般参加のフリーマーケット

食欲の秋！出店コーナー

日赤奉仕団による救護用炊出し

あらほの町のボランティア団体紹介コーナー

やまびこ会の相談コーナー

お茶会(福祉センター内)

☆フテージ発表もあるよ！皆さんのご来場をお待ちしてます！

◆被災地復旧支援状況◆

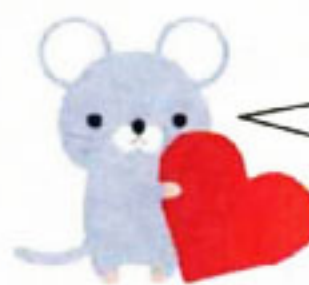
栗石町災害ボランティアセンターでは、東日本大震災の復旧支援ボランティアバスを運行しています。

7月より山田町・大槌町での活動を行い、延べ5日間で102名のボランティアさんに参加していただきました。

作業内容もガレキのある場所の復旧支援から、現在では仮設住宅に住む方々への生活支援へと変わりつつあります。

作業内容もガレキのある場所の復旧支援から、現在では仮設住宅に住む方々への生活支援へと変わりつつあります。

◇ガレキ撤去作業



作業内容が変わってきたわ。

◇仮設住宅に、せとものを届けました。



ご存知ですか？ 「義援金」と「支援金」

たくさんのボランティアさんの協力を得て、被災地復旧支援にあたっておりますが、中には現場(被災地)でボランティア活動をしたいという思いはあっても、仕事の都合で行けない方や体力的に被災地での活動は無理...という方も多散くいらっしゃると思います。

そこで、被災地へ行かなくてもできる 復興のための活動の ひとつが『寄付』です。

災害支援の寄付には大きく分かれて「義援金」と「支援金」があります。「義援金」は、ご存じのとおり、被災者の方へ直接届けられる寄付で、震災直後から町内外の皆様方にご協力いただいております。9月15日現在、4,208,237円にのぼり、岩手県災害義援金募集委員会を通じて、被災地の方へ配分されます。

一方で、「支援金」とは、被災地で活動するボランティアやNPO団体の活動資金となるお金です。被災地で活動するボランティアやNPO団体も継続して活動を行うためには資金が必要となります。それを『寄付』という形で支援するのもボランティア活動のひとつです。自分が「この活動に役立ててもらいたい!」という活動団体を選んで寄付する『指定寄付』もできます。

栗石町災害ボランティアセンターの活動にご賛同頂き、ボランティアの皆さんへ役立てて下さいと、下記の方々よりご支援頂きましたのでご紹介します。

- ★藤原恒子 様(六区) 支援金
 - ★梶田キヨ 様(駒木野) 手袋一式
 - ★川崎光博 様(上町一・二) 手袋一式
- ありがとうございました。
大切に使用させていただきます。

